



平成 23 年 4 月 20 日

各 位

上場会社名 株式会社 リソー 教育
代 表 者 代表取締役社長 宮下 秀一
(コード番号：4714 東証第一部)
問合せ先責任者 情報開示担当リーダー 澤井 豊
情報開示担当リーダー 田中 文明
(TEL 03-5996-3701)

東日本大震災の被災者への第四弾支援活動と 26期決算及び27期経営計画について

◇ 継続的支援活動の報告

第一弾・第二弾支援活動に続き、この度、第三弾支援活動を実施しましたのでご報告いたします。その支援内容は、被災地区の子どもたちの新学期に間に合う様に、1万人分の文房具一式を社団法人日本経済団体連合会（日本経団連）を通じ、寄贈するというものです。今後も子どもたちへの支援を、教育事業を営む企業体として継続的に実施したいと考えております。また第四弾支援活動として、リソー教育グループに通う会員（生徒たち）の“やさしい心募金活動”を準備中です。なお、第一弾・第二弾支援活動の内容につきましては、平成 23 年 3 月 28 日発表の開示資料をご覧ください。

◇ 26 期決算内容について

26 期（平成 23 年 2 月期）の決算内容は、4 月 13 日に発表しておりますが、お陰様で過去最高の売上高（前期比 108%）と経常利益（前期比 106%）となりました。教育業界全体では、少子化と経済不況の影響を受け苦戦をしている企業が多い中、過去最高の業績を更新することができたことに対しまして、厚く御礼申し上げます。

◇ 27 期経営計画について

今回の東日本大震災によるグループ全教室の被害及び事故は皆無（東北地区には教室・支社はございません）でした。27 期（平成 24 年 2 月期）は、3 月スタート早々に計画停電（神奈川・千葉・埼玉地区）が少しの間続きましたが、従業員の知恵と行動力で支障なく授業を実施する事が出来ました。今期（27 期）の経営計画は、夏期（7 月・8 月・9 月）・冬期（12 月・1 月・2 月・3 月）の計画停電の可能性と経済活動の停滞というマイナス要因を視野に入れて検討しました。その結果、売上高は 200 億円突破の 202 億円（前期比プラス 14.6 億円）、経常利益は 30 億円突破の 30.6 億円（前期比プラス 4 億円）といたしました。震災の状況が好転すればそれ以上の実績を期待していただけるのではないかと考えております。

◇ 新事業及び事業提携・M&A 等について

27 期は、既に発表済の新事業がスタートします。それは幼児英才教育型の長時間託児事業です。55 年の実績を持つ伸芽会のノウハウを駆使した託児保育ということで注目をいただいております。第一号教室は「目黒」か「池袋」のいずれかになります。開園前から伸芽会会員の方々からの口コミ紹介で満席満員となり、好調なスタートになっています。また、別の教育事業におきましても、業務提携または M&A の話が（中堅企業から大型の有名企業まで）多数持ち込まれております。前向きに検討してみたいと考えております。決定しましたら、速やかに公表・発表致します。

以 上